

令和7年7月11日(金)

図書新聞

愛媛県立新居浜商業高等学校図書委員会 Vol.3

皆さん、期末考査は頑張り切れましたか。もうすぐ夏休みが始まります。読書感想文や国語の宿題の本を探したり、夏休みの課題をしたりしに、是非図書室を利用しに来てください。待っています。

図書委員オススメの本！

書名 『麦本三歩の好きなもの』 住野 よる 著

何気ない日常の中にある「好き」がたくさん詰まっている本です。歩くこと、寝ること、生クリームに、東京タワー……。たとえその一日が何の変哲もない日だとしても、好きなものがあるだけで幸せな気持ちになれるはずです。

どの話を読んでも、麦本三歩の考え方、そして生き方に惹かれると思います。私のお気に入りの一冊です。ぜひ皆さんも読んでみてください。



書名 『化物語』 西尾 維新 著

主人公、阿良々木暦が、春休みに吸血鬼に襲われた。そのことをきっかけに、さまざまな怪異とめぐることに。

それらの怪異に襲われ、悩まされている人たちを、阿良々木暦が、頼もしい仲間たちと一緒に助けていく物語。

『化物語』のほかにも沢山の『〇物語』シリーズがあります。図書室に来て読んでみませんか？



新任の先生のオススメ本



☆林田 優輝先生☆



書名 『嫌われる勇気 自己啓発の源流「アドラー」の教え』

岸見 一郎・古賀 史健 著

・あらすじ 本の内容

欧米で支持されているアドラー心理学は、「どうすれば人は幸せに生きることができるか」という問いに、きわめてシンプルかつ具体的に“答え”を提示する。

・オススメポイント

人が抱えている悩みや、人生における幸せについて、青年、哲人の対話の中で出てくるアドラーの考え方から、見つめ直すことができる。

あらたな発見や勇気を与えてくれる一冊であると感じます。



～アドラーの名言～

強く見せる努力はやめて、強くなる努力をすべきだ。



夏休みの開館日

7月22日(火)～7月25日(金)

8月25日(月)～8月28日(木)

9時～15時まで 土・日を除く



第71回青少年読書感想文課題図書

書名 『銀河の図書室』 名取 佐和子 著

高校の図書室で宮沢賢治を研究する弱小同好会・イーハトー部。部長だった風見先輩はなぜ突然消えてしまったのか——先輩が残した「ほんとうの幸いは、遠い」というメッセージに秘められた謎が、深く心に響きます。

突然先輩が消えてしまったという謎を追う、高校生たちの今を瑞々しく描く、傑作青春小説。



書名 『夜の日記』 ヴィーラ・ヒラナンダニ 著／山田 文 訳

ちがう宗教を信じる者たちが、互いを憎みあい、傷つけあっていく。安全を求め旅に出た家族。自分の思いをことばにできない少女は亡き母にあてて、揺れる心を日記につづる。『アンネの日記』をほうふつとさせる傑作。ニューベリー賞オナー賞受賞作！



書名 『「コーダ」のぼくが見る世界：聴こえない親のもとに生まれて』

五十嵐 大 著

もし、親の耳が聴こえたら——なんて、想像もつかなかった。言葉やコミュニケーションの本質、「善意による差別」って何だろう？

聴こえない／聴こえにくい親のもとで育つ聴こえる子ども＝「コーダ」。ろう者と聴者のはざままで生きる経験を通じ、言語やコミュニケーションの大切さ、自分と異なる人の立場を想像する難しさを知るノンフィクション。



・新刊本紹介・

- ・『銀河の図書室』 名取 佐和子 著
- ・『夜の日記』 ヴィーラ・ヒラナンダニ 著
山本 文 訳
- ・『「コーダ」のぼくが見る世界
：聴こえない親のもとに生まれて』
五十嵐 大 著
- ・『わたしは食べるのが下手』 天川 栄人 著
- ・『日本人は何を描いてきたのか？』 檜垣 政司 著

ワタシの一行大賞 対象作品紹介

- ・『ハリネズミは月を見上げる』 あさのあつこ 著
- ・『サキの忘れ物』 津村 記久子 著
- ・『塩苅峠』 三浦 綾子 著
- ・『東京タワー』 江國 香織 著
- ・『世界でいちばん透きとおった物語』 杉井 光 著
- ・『夜のピクニック』 恩田 陸 著
- ・『ツナグ』 辻村 深月 著

